

## ISO/TC 61(プラスチック)/SC 13 (複合材及び強化用繊維) 分野の最近の動向

### 1. ISO/TC 61/SC 13 の構成及び年次会議

ISO/TC 61/SC 13 では、繊維強化材料及び強化用繊維（ガラス繊維、炭素繊維、等）に関する規格の制定・改正等を行っている。

2006年より日本がSC 13の幹事国となって運営を担っており、日本にとって重要なコミッティーの一つである。

SC 13は現在、100規格を有し、P-メンバー（投票権有）は18カ国、O-メンバー（オブザーバー）は9カ国である。

WG（作業グループ）は、表1に示す3つが現在活動している。

表1-ISO/TC 61/SC 13 の WG

WG	コンビナー	タイトル
WG 1	日本	強化材及びその製品
WG 2	イギリス	積層・複合材料
WG 7	日本	金属と複合材との接合体

WG 1はガラス繊維や炭素繊維を、WG 2はそれら繊維による強化プラスチックを各々対象としている。WG 7は日本の提案により2017年に設立され、金属と複合材の接合体を対象としている。

毎年、年1回9月又は10月にISO/TC 61年次国際会議がTC61のメンバー国の持ち回りで開催され、その期間内にSC 13関連の会議も行われる。

2020年はスウェーデンのストックホルムで国際会議は開催予定であったが、コロナ禍により、ストックホルムでの対面会議は取りやめとなり、代わりに各SCがそのSC及び傘下のWGのバーチャル会議を行うこととなった。

SC13については、WG1、WG2、WG7の会議及びSC13の全体会議を10月上旬に実施する予定である。

現在のSC 13関連の規格開発状況について、トピックスを以下に記す。なお、規格の名称は簡略化している。

### 2. ISO/TC 61/SC 13 の審議・活動状況

#### 2-1. SC 13/WG 1（強化材及びその製品）

##### ISO 10119（炭素繊維—密度の求め方）

中国からの改正提案。FDIS投票をスキップし、2020-06-22にISが発行となった。

##### ISO 23483（炭素繊維—熱伝導率の求め方）

韓国の新規提案。CD投票を実施し審議した結果、DIS投票に進める前に、データの確認を行うこととなった。現時点では、データの確認は未了である。今度の会議で取り進めを確認する。

##### ISO 4410（織物への溶融樹脂の透過性の求め方）

ドイツからの提案。NP投票を実施し承認された。今度の会議では、CD投票への進捗を審議する。

#### 2-2. SC 13/WG 2（積層・複合材料）

##### ISO 527-4 及び5（引張特性の求め方）

第4部はドイツの改正提案、第5部は日本の改正提案である。現在両者ともDIS投票が終了した時点である。今度の会議で投票結果を審議して、次段階（FDIS投票）に進めたいと考えている。

##### ISO 23927（プリプレグ—粘着性の求め方）

韓国の新規提案。CD投票が行われ、反対はなかった。今度の会議でDIS投票への進捗について審議する予定である。

##### ISO 22821（CFRP—熱天秤による繊維量の求め方）

日本の新規提案。近々、FDIS投票が開始される予定である。

##### ISO 22836（CFRP への加速吸湿方法）

日本の新規提案。FDIS投票が実施され、承認された。2020-09-30にIS発行となった。

##### ISO 23930（全断面圧縮試験による引抜成形品の評価）

中国からの新規提案。NP 投票を実施し、承認された。今度の会議で CD 投票への進捗が審議される。

<新規提案>

今度の会議では、イギリスから NDE（非破壊評価）に関する新規の提案がある見込みである。

### **2-3. SC 13/WG7（金属と複合材との接合体）**

#### **ISO 22838（接合体の DCB 法による破壊靱性の求め方）**

日本の新規提案。現在、FDIS 投票中である。

#### **ISO 22841（接合体のラップシェア強度の求め方）**

日本の新規提案。まもなく FDIS 投票開始する予定である。

#### **ISO 24360（接合体の十字引張強度の求め方）**

日本からの新規提案。CD 投票実施し、反対はなかった。今度の会議で DIS 投票への進捗承認を得る。

<新規提案>

日本から「金属－複合材の接合の信頼性・耐久性評価方法」に関するいくつかの予備提案を行う予定である。

(以上)